

鹿児島県の主な山岳情報

霧島山岳情報

鹿児島県の北東部、宮崎県との境に位置する霧島山系は、日本で最初に国立公園に指定され、鹿児島県内では最も多くの人々に登られ、親しまれています。

山系には、天孫降臨で有名な高千穂峰や、韓国岳、新燃岳などがあり、最高峰の韓国岳（標高1,700m）や高千穂峰を登るコースには人気があります。

特に、5月から6月にかけての時期は、ミヤマキリシマやミツバツツジの花を觀賞することができ楽しみも増えますが、新燃岳のように活発な火山活動を行っている山もあり、事前に入山規制等の確認が必要です。



開聞岳情報

鹿児島県薩摩半島の南端に位置する標高924mの美しい三角錐の独立峰で、深田久弥の「日本百名山」にも選ばれ、海にせり出しているこの秀峰を地元では薩摩富士と呼んでいます。

登山口は1か所で、らせん状に高度を上げながら山を一週する登山道となっています。

登り始めてからしばらくは火山礫のザラザラ道で滑りやすく、5合目までは広葉樹林の中を進み、7合目からは一気に視界が開けますが、岩場の道となり、足元に注意が必要です。

山頂は岩場となっていて展望は最高で、北側には池田湖の向こうの薩摩半島の景色を、南側は東シナ海の景色を堪能することができます。



屋久島山岳情報

屋久島は、九州最高峰（標高1,936m）の宮之浦岳をはじめとして、険しい山々が40数座連なる周囲約130kmのほぼ円形の島です。山岳部で年間1万ミリといわれる多量の降雨は、無数の滝や清らかな溪流を形成し、河口まで一気に駆け下ります。

また、縄文杉など樹齢数千年の巨杉が育成する森林や、亜熱帯から冷温帯までの植物の垂直分布が見られるこの島は、野生生物の宝庫となっていることから、平成5年12月9日

に世界遺産に登録されました。



各山系（岳）を管轄する警察署			
霧島山系	霧島警察署	霧島市国分中央3丁目44番22号	0995-47-2110
開聞岳	指宿警察署	指宿市西方1602番地1	0993-22-2110
屋久島山系	屋久島警察署	熊毛郡屋久島町安房304番地42	0997-46-2110